



## 第8条 プレーの開始および再開

コインをトスし、勝ったチームが試合の前半に攻めるゴールを決める。(他方のチームがキックオフを行う)

## 第9条 ボールインプレーおよびボールアウトオブプレー

ピッチ面または空中にかかわらずボールがゴールラインまたはタッチラインを完全に超えた、主審・第2審判がプレーを止めた、ボールが天井に当たった場合はアウトオブプレーとなり、それ以外はインプレーである。

## 第10条 得点の方法

手で投げ入れての得点はできない。キックオフから直接得点できない。

## 第12条 ファウルと不正行為

ファウルは競技者によって犯され、ボールがインプレー中でありピッチ内で起きることである。

### 【直接フリーキックで罰せられるファウル】

- ・直接フリーキックで罰せられるファウルの7項目を、不用意に・無謀に・または過剰な力で犯した場合。
- ・直接フリーキックで罰せられるファウルの3項目を犯した場合。
- ※直接フリーキックで罰せられるファウルは、累積ファウルである。

### 【間接フリーキックで罰せられるファウル】(ゴールキーパーによる反則)

- ・ピッチの自分自身のハーフ内で、4秒を超えて手や腕または足でコントロールする。
- ・ボールをプレーしたのち相手競技者がプレーまたは触れる前に、自分自身のハーフ内で味方競技者によって意図的にゴールキーパーに向かってプレーされたボールに再び触れたとき。
- ・自分自身のペナルティーエリア内で、味方競技者からキックされたボールを直接手または腕で受ける。
- ・自分自身のペナルティーエリア内で、味方競技者がキックインしたボールを直接手または腕で受ける。
- ※ゴールキーパーがボールを体のいずれかの部分で触れることはボールをコントロールしていると判断されるが、偶発的にゴールキーパーから跳ね返ったボールについてはその範囲ではない。

### 【退場となる反則】

退場を命じられた競技者または交代要員は、ピッチおよびテクニカルエリア周辺から離れなければならない。

## 第13条 フリーキック

相手競技者は5m以上離れなければならない。ボールが触れられるかプレーされたのちインプレーとなる。

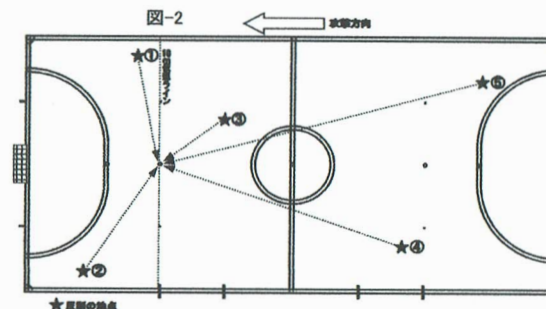
- ・フリーキックを行うチームが4秒を超えて時間を費やした場合、相手チームに間接フリーキックが与えられる。
- ・ペナルティーエリア内で守備側チームに与えられたフリーキックは、エリア内の任意の地点から行える。

### 【累積ファウル6つ目からのフリーキック】

- ・守備側チームの競技者はフリーキックに対して壁を作れない。
- ・キッカー以外の競技者はボールの後方で、インプレーになるまで5m以上ボールから離れなければならない。
- ・ゴールキーパーは、自分のペナルティーエリア内で5m以上ボールから離れる。
- ・キッカーは正しく特定され、他の競技者にボールをパスすることなく得点を狙ってキックする。
- ・フリーキックが行われたのち、ゴールキーパーがボールに触れるかゴールポスト・クロスバーから跳ね返る、またはピッチの外へ出た後でなければ競技者はボールに触れることはできない。
- ・競技者がペナルティーエリア外のピッチの味方ハーフ内の10mの仮想ラインとゴールラインとの間で累積6つ目のファウルを犯した場合、攻撃側チームはキックを第2ペナルティーマークから行うか、違反が起きた場所から行うかを選択する。(図2-(1)参照)
- ・延長戦が行われる場合、後半の累積ファウルはそのまま延長戦に持ち越される。

★キックオフ⇒ボールが前に移動してインプレーとなる。(サッカーと違いますので選手に伝えてください)

★バックパス⇒ゴールキーパーが、保持していたボールを離れた後、相手側によって触れられるかプレーされる前に、自分自身のハーフ内で味方競技者からゴールキーパーがボールを受けたり、ハーフウェーラインを越えて再び自陣でボールを受けると反則となります



- (1) 味方ゴールラインから10メートルの仮想ラインとの間の地域でのファウルはその地点からフリーキックを行うか第2ペナルティーマークからのキックを行うかをチームは選択できる。(①、②)
- (2) 味方ゴールラインから10メートルの仮想ラインより相手側のピッチ内のファウルは、第2ペナルティーマークからフリーキックを行う。(③、④、⑤)

違反	ゴール	ノーゴール
攻撃側競技者	(壁なしの)フリーキックを再び行う	間接フリーキック
得点を狙ってシュートしない	—	間接フリーキック
特定された以外の競技者のキック	間接フリーキック	間接フリーキック
守備側競技者	ゴール	フリーキックを再び行う
両チーム	フリーキックを再び行う	フリーキックを再び行う

## 第14条 ペナルティーキック

- ・キッカーを確実に特定する。守備側ゴールキーパーは、キッカーに面してゴールライン上にいる。
- ・キッカー以外の競技者は、ピッチの中にいて、且つペナルティーエリアの外に位置し、ペナルティーマークの後方においてペナルティーマークから5m以上離れる。

## 第15条 キックイン

- ・相手競技者は、ピッチ内で、キックインを行うタッチライン上の場所から5m以上離れる。
- ・キックインを行う競技者は、いずれかの足の一部をタッチライン上、またはタッチラインの外側のピッチ面につける。
- ・ボールがピッチから出た地点、またはピッチ外でその地点から25cm以内の場所から必ず静止したボールをける。
- ・ボールは、ける準備ができてから4秒以内ける。
- ・キックインから直接得点することはできない。

\*キックインがおこなわれ、ピッチ内に入らずタッチラインを割った場合は、相手チームのキックインで再開

## 第16条 ゴールクリアランス

- ・攻撃側競技者が触れたボールがゴールラインを越え第10条の得点とならなかった場合ゴールクリアランスとなる。
- ・守備側のゴールキーパーがペナルティーエリア内の任意の地点からボールを投げる。
- ・ゴールクリアランスからは直接得点することはできない。
- ・守備側のゴールキーパーがゴールクリアランスを行う準備ができてから、4秒以内に行う。
- ・ボールがインプレーになったのち、相手競技者がプレーまたは触れていないにもかかわらず、ゴールキーパーが自分自身のハーフ内で味方競技者によってゴールキーパーに向けてプレーされたボールに再び触れた場合、違反が起きた場所から行う間接フリーキックが相手チームに与えられる。
- ・ゴールクリアランスが正しく行われなかった場合は(ペナルティーエリア外から投げるなど)、やり直しとなる。
- \*ゴールクリアランスからボールが直接ペナルティーエリア外に投げ出されなかった場合、ゴールクリアランスは再び行われるが、4秒のカウントはリセットされず、ゴールキーパーがゴールクリアランスの準備ができてから、続けてカウントされる。

## 第17条 コーナーキック

- ・ボールが出た地点に近い方のコーナーアークの中にボールを置く。
- ・相手競技者は、ボールがインプレーになるまで、ピッチ内でコーナーアークから5m以上離れる。
- ・コーナーキックは4秒以内に行う。4秒以内に行われなかった場合、相手チームのゴールクリアランスとなる。
- ・コーナーキックの進め方およびボールの位置に関するその他の違反が起きた場合は、コーナーキックのやり直し。